概要

このケーススタディは、2,000人以上の従業員を抱える上場メディア企業に関するケーススタディです。多くの新聞を出版することに加えて、この特定のメディア会社は12州で35のラジオ局と13のテレビ局を所有し、運営しています。経費明細書の承認を取得するための使いやすいプラットフォームをユーザーに提供する一方で、事前承認された要求でマーベリックの支出を事前に削減する必要があります。

Coupa は、要求、経費管理、承認、予算、発注書、受領、請求、レポート、およびベンチマークに使用されています。Coupa 経費管理を頻繁に使用することに加えて、注文と請求書の両方が主要なオフィスサプライとITサプライヤーにcXMLを介して送信されています。Coupa を通じて支出を追跡することの使いやすさと価値の証として、Go-Live が成功した後、わずか 3 か月で 175 の経費ライセンスが追加されました。レポートの面では、Coupaのパワーユーザーとビューのみのアクセス権を持つ個人の両方が、200以上のカスタムレポートを作成してリアルタイムレポートを最大限に活用しています。このすべては、自分のPeopleSoftシステムとの自動統合によって管理されています。

一般情報

* Go-Liveの時点で800人の経費ユーザーと400 e調達ユーザー
* 最初の3ヶ月で175の経費ライセンスの追加
* 130,000以上のGLアカウント
* 7,000以上のサプライヤー
* 最初の3ヶ月間に約1,500件の経費報告書

実装タイムライン

Coupa の e 調達機能と経費報告書機能の両方へのアクセスは、最初の Go-Live に続いて個々の場所で徐々にエンド ユーザーにロールアウトされました。

統合情報

* Peoplesoft
* PeopleSoft からクーパへの次のビジネスオブジェクトの自動統合:
  + ユーザー
  + サプライヤー
  + アカウント
  + 請求書支払
* クーパから PeopleSoft への次のビジネス オブジェクトの自動統合:
  + 請求 書
  + 経費精算書
* 統合は、sFTP サイト間で 2 つのシステム間でフラット ファイルをプッシュすることによって行われました。